



美しい日本語の話し方教室 7/7

劇団四季の俳優による『美しい日本語の話し方教室』が、高静小学校で開かれ、6年生82人が言葉をハッキリと伝える日本語の話し方を学びました。これは同劇団の社会貢献活動の一環で、平成17年度から全国の小学校で実施し、日高管内では初めて。北海道四季劇場で上演中の「オペラ座の怪人」に出演する俳優3人が講師を務めました。教室では「日本語は母音をきちんと話すことが大切」と解説。児童は発音練習や歌を歌いながら、美しい日本語の話し方を楽しく学びました。



第20回みついし蓬莱山まつり 7/6

『第20回みついし蓬莱山まつり』が蓬莱山公園で開かれ、約7千人が来場し、蓬莱山を渡る巨大しめ縄を背に、ステージショーや縁日を楽しみました。例年より量を増やして販売した「みついし牛」は約1時間で完売。ステージでは三石中吹奏楽部や染退太鼓の演奏に続き、歌手の森昌子さんが約10曲を披露しました。YOSAKOIソーランでは、三石小1、2年生や北大生チームの「縁」、地元「三石なるこ会」などが熱気あふれる踊りを披露し、会場から大きな拍手が送られました。



ソフトテニス全国大会出場挨拶 6/25

7月31日から大分県で開かれる『第31回全日本小学生ソフトテニス選手権大会』に出場を決めた松尾海音くん（高静小6年）と原颯哉くん（東静内小6年）のペアが、役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。松尾くんは「去年は1勝もできなかったのですが、今年は1勝でも多く勝ち上がりたい」、原くんは「6年間の練習の成果を出し切りたい」と抱負を述べ、酒井町長は「暑さなど体調管理に気をつけて頑張ってきて」と激励しました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



剣道全国大会出場挨拶 7/7

剣道の全国大会に出場を決めた重岡佑季さん（静内中3年）が、役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。重岡さんは6月29日千歳市で開かれた『第38回北海道道場少年剣道大会』の中学生女子の部で見事初優勝を果たしました。団体戦も合わせて3つの全国大会に出場する重岡さんは「今年の全国大会は2回戦で敗退したので、今年はもっと上を目指したい」と抱負を述べました。



消防団協力事業所認定 7/7

日高中部消防組合は、吉田建設工業（静内こうせい町）と平目土建（静内神森）に、1日付で消防団協力事業所認定証と表示証を交付しました。消防団協力事業所は、従業員が消防団員として複数入団しているなど、消防団活動に理解や協力があり、地域社会に貢献している事業所を認定する制度。日高中部消防組合では平成24年度から同制度を導入し、今回の2社の認定で新ひだか、新冠両町の協力事業所は14社となりました。



第13回切花品評会 7/3

みついし花き振興会（道下潔会長）による『第13回切花品評会』が、本桐基幹集落センターで開かれ、生産者自慢の花々が出来栄を競いました。品評会は、栽培農家の技術と品質向上、関係者の交流や消費者へのPRのために毎年開催。デルフィニウムやスターチスなど73点が出品され、道内外の花き市場関係者などが花の形状や色合い等を審査した結果、デルフィニウムを出品した三石蓬栄の沼田英之さんが最優秀賞に選ばれました。



帝王賞制覇 6/25

『第37回帝王賞』（Jpn I・ダート2000メートル）が大井競馬場で行われ、フクダファーム（三石清瀬）の生産馬ワンダーアキュート号が見事優勝を果たしました。ワンダーアキュート号は、直線外から抜け出して2着馬に2馬身の差をつけて快勝。2012年のJBCクラシック以来、統一GI2勝目を挙げました。レース後、同牧場には続々と関係者が訪れ、喜びと祝福の声であふれていました。



第16回ジャパンダートダービー制覇 7/9

『第16回ジャパンダートダービー（Jpn I・ダート2000メートル）』で田中裕之さん（静内浦和）生産馬のカゼノコ号が見事優勝を果たし、重賞初勝利を飾りました。



戦没者追悼式 7/8

『恒久平和祈願戦没者追悼式』が町公民館で開かれ、遺族など約100名が参列し、戦火で犠牲となった454柱の冥福を祈り、恒久平和への思いを誓いました。



社会を明るくする運動 7/7

『第64回社会を明るくする運動』の街頭啓発パレードが静内地区で行われ、町内23団体約200人が参加し、犯罪や非行のない明るい地域づくりをアピールしました。



コスモスロード植栽 6/27

二十間道路桜並木沿いをコスモスでいっぱいにとしようと、コスモスの植栽が行われ、参加したボランティアの方々は、静内農業高校生が栽培した苗を丁寧に植えました。